建築用

鉛クロムフリー　ワンコート厚膜仕上げ
厚膜形合成樹脂調合ペイント

SPワイド

JIS K 5516 2種　上塗り用
厚膜形合成樹脂調合ペイント
F☆☆☆

鉛クロムフリー　はけ対応　エアレス対応　上塗り

特長

■ 隠ぺい力(かぶり)が抜群です。
■ 耐候性が優れています。
■ 作業性がよく、厚膜仕上げが可能です。
■ トップコートとしては優れた防錆効果を兼ね備えています。特殊防錆顔料及び特殊さび面浸透剤を併用していますので、さび面適性(2種ケレン)を兼ねたさび止め・上塗り兼用塗料です。
■ 鉛クロムフリー

注) 鉛クロムフリー化により、色相により隠ぺいが悪くなる場合があります。予めご了承ください。

塗膜性能

■ JIS K 5516　2種　上塗り用

容量・色

■ 16kg・4kg／白・調色
(現場調色にはSPワイド原色をご使用ください。この原色は調色用の原色です。)

用途

■ 鉄扉・鋼製建具・手摺り・一般鉄部・鉄骨等の鉄構造物・木部等の美装・保護

注) コンクリート・モルタル等のアルカリ性素材には塗装を避けてください。
注) 屋内の暗所においては、塗装後経時で塗膜が黄変することがあります。
注) 結露の発生が著しい箇所ではふくれ等の不具合が発生することがありますので、当該塗料での塗装は避けてください。
注) 控見本板をお持ちの場合、保管場所によっては暗所焼けなど変色することがありますので、事前に色の確認をお願いします。

塗付量

■ 25μm：0.11kg/㎡ (約145㎡/石油缶)
■ 50μm：0.22kg/㎡ (約72㎡/石油缶)

注) 使用量は当社の標準値です。下地の状態により使用量が異なることがあります。

■希　釈 (20℃)：塗料用シンナー
　は　け　　5～10%
※はけ塗りの場合の数値になります。

標準塗装仕様

1)鉄部(新設)の場合

工　程	塗　料　名 (希釈剤)	膜厚 (μm)	希釈率 (%)	使用量 (kg/㎡ / 回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	ディスクサンダー・ワイヤブラシ・スクレーパー等でさび、黒皮をできるだけ除去し、油脂・グリース等はシンナー拭きする。						
さび止め	速乾さび止めK－21 (塗料用シンナー)	35	5～10	0.15	1	1日～10日	エアレス
上　塗	SPワイド (塗料用シンナー)	50	5～10	0.22	1	—	は　け
			5～15	0.28			エアレス

2)鉄部(塗替え)の場合

工　程	塗　料　名 (希釈剤)	膜厚 (μm)	希釈率 (%)	使用量 (kg/㎡ / 回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	ディスクサンダー・ワイヤブラシ・スクレーパー・サンドペーパー等で付着不良の旧塗膜・さび・チョーキング粉等をできるだけ除去し目粗しする。油脂・グリース等はシンナー拭きする。						
補修塗	SPワイド(塗料用シンナー)	50	5～10	0.22	1	18時間以上	は　け
上　塗	SPワイド(塗料用シンナー)	50	5～10	0.22	1	—	は　け

※補修塗は発錆箇所・金属素地露出部について行う。

神東塗料

3)鉄部(さび発生が著しい場合の塗替え)

工　程	塗　料　名 (希釈剤)	膜厚 (μm)	希釈率 (%)	使用量 (kg/㎡ / 回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	ディスクサンダー・ワイヤブラシ・スクレーパー・サンドペーパー等で付着不良の旧塗膜・さび・チョーキング粉等をできるだけ除去し目粗しする。油脂・グリース等はシンナー拭きする。						
補修塗	超速乾リンサンデラストHB (塗料用シンナー)	35	5～10	0.14	1	1日～10日	は　け
上　塗	SPワイド(塗料用シンナー)	50	5～10	0.22	1	―	は　け

※補修塗は発錆箇所・金属素地露出部について行う。

4)木部の場合

工　程	塗　料　名 (希釈剤)	希釈率 (%)	使用量 (kg/㎡ / 回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	油脂・ヤニ等を完全に除去し、サンドペーパーで研磨する。					
上　塗	SPワイド(塗料用シンナー)	5～10	0.22	1	―	は　け

※ただし、特に下地の吸い込みが多い場合は、下塗りに「SPペイント下塗白」をご使用ください。

安全衛生

	塗料	シンナー
引火点	42℃	42℃
有規則区分	3種	3種
危険物分類	指定可燃物	4類2石
特化則区分	特別有機溶剤等	―

■ 取り扱いに関する一般的注意事項

■ 調合

1 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するように心がけてください。
2 塗料は使用する前に十分撹拌を行い均一な状態にして使用してください。
3 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
4 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。

■ 塗装

1 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は、塗装を避けてください。
4 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5 コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ素地には塗装をしないでください。
6 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
7 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
8 溶剤系塗料のため、室内での塗装時および取り扱い時には換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
9 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

■ 緊急時の対応

1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■ 廃棄

1 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

■ 保管

1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2 子供の手の届かない場所に保管してください。
3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ※ご不明な点に関しては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング
神東塗料

本　　社 ☎(06)6426-3355㈹ FAX(06)6429-6188㈹
東京事業所 ☎(03)3522-2111㈹ FAX(03)3522-2150㈹

工場　尼崎・千葉

《製品に関するお問い合わせ》
北海道営業所 ☎(0123)32-0431㈹ FAX(0123)34-6199㈹
東北営業所 ☎(022)285-7915㈹ FAX(022)285-7813㈹
東京営業所 ☎(03)3522-1672㈹ FAX(03)3522-1678㈹
静岡営業所 ☎(054)245-0135㈹ FAX(054)247-4091㈹
北陸営業所 ☎(076)262-1305㈹ FAX(076)262-1315㈹
名古屋営業所 ☎(052)612-0293㈹ FAX(052)612-0318㈹
大阪営業所 ☎(06)6426-3763㈹ FAX(06)6429-6268㈹
中国営業所 ☎(082)264-6822㈹ FAX(082)264-6821㈹
四国営業所 ☎(087)841-1251㈹ FAX(087)843-3108㈹
九州営業所 ☎(092)472-2222㈹ FAX(092)473-5777㈹

http://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。

VEGETABLE OIL INK
●この印刷物は環境に優しい植物油インキを使用しております。
●この印刷物は水なし印刷で作成しております。
N1217AT-1©